



2011年5月 13日

三和ホールディングス株式会社

www.sanwa-hldgs.co.jp

第76期 2011年3月期 決算説明資料



The Genuine. The Original.



目次

■ はじめに

1. 2010年度決算発表にあたり
2. 最近の連結業績推移

■ 2010年度(実績)

3. 決算ハイライト
4. 比較損益計算書
5. 連結売上実績(セクター別)
6. 営業利益増減要因
7. 営業停止影響について
8. 東日本大震災の影響について

■ 2011年度(予想)

9. 外部環境予想
10. 通期予想ハイライト
11. 売上(セクター別)
12. 営業利益増減要因

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

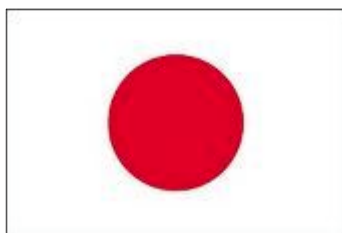
■ 戦略課題の進捗

13. 構造改革及びTCRの取組み(国内)
14. ODC&WD統合シナジー
15. ODC開閉機事業について
16. NFの構造改革及びTCRの取組み
17. アジア事業の基盤拡充
18. グローバルシナジー

◆ 参考資料

1. 各地域の動向(日本、米国、欧州)
2. 主要経営指標
3. トピックス
4. セクター別連結業績の概要
5. 製品別受注高・売上高(三和SS)
6. 設備投資額と減価償却費(連結)
7. 2011年度ODC業績予想
8. 2011年度NF業績予想

1. 2010年度決算発表にあたり



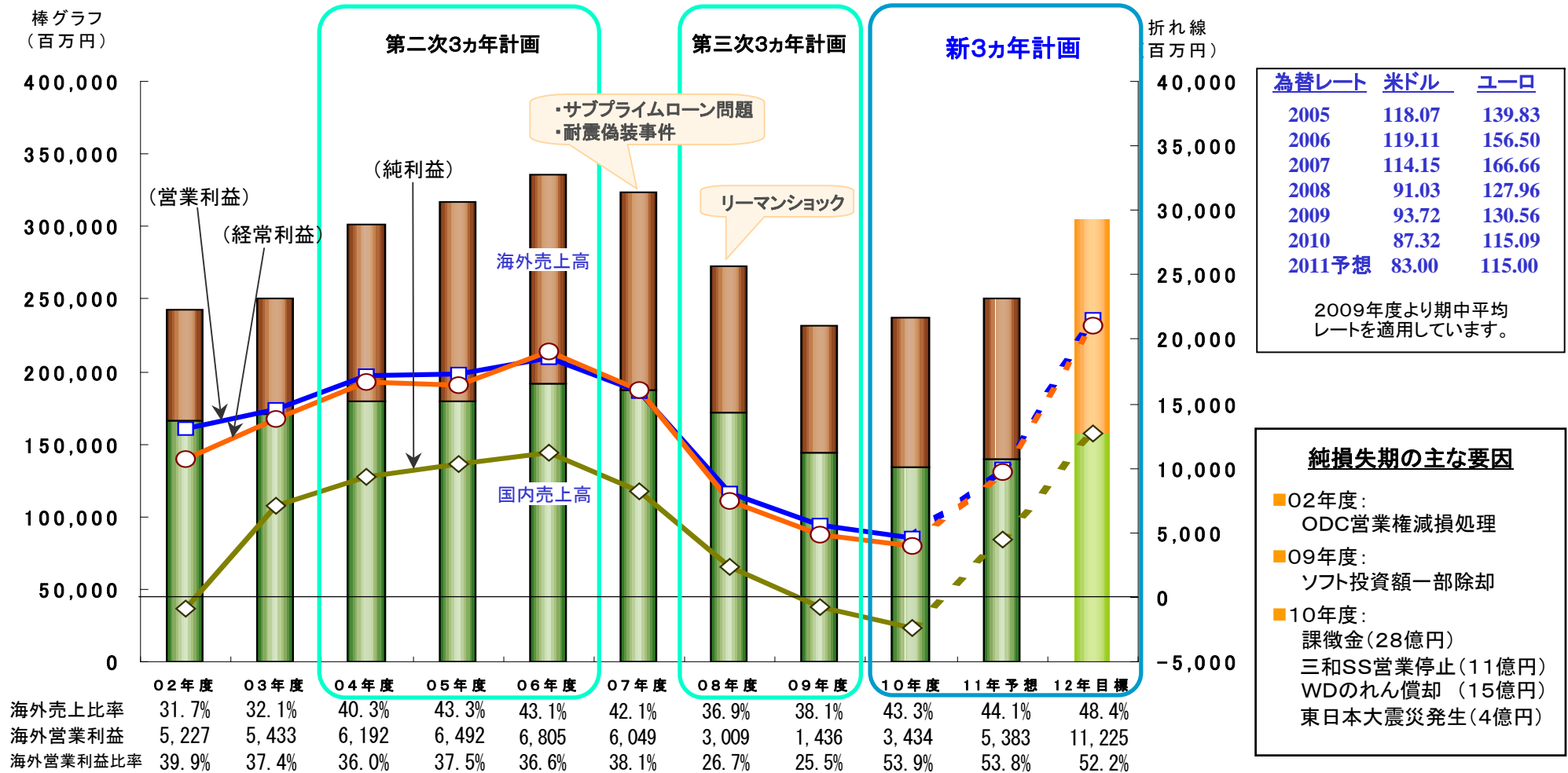
がんばろう日本！

3月11日に発生した東日本大震災において被災された皆様
に対して心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い
復興を心よりお祈り申し上げますとともに、復興に向けて当社
グループも一丸となって取組み、全力で支援して参ります。

三和ホールディングス株式会社

2. 最近の連結業績推移

- 09年度は、国内設備投資及び国内・米国新築住宅着工が歴史的な低水準となり、業績は00年度以来最低水準に
- 10年度は、ウェインダルトン(WD)統合効果が予想以上であったが、三和シャッターでの営業停止の影響が大きく、コスト削減等により利益確保に注力するものの、WDのれん単年度償却、課徴金支払等により最終赤字
- 11年度は震災影響による不透明さはあるが、日米欧とも増益、前年比プラス要因も重なり、ほぼ新3カ年計画に沿った大幅増益を予想



■ 2010年度通期（実績）

2010年4月～2011年3月

《通期連結実績》

	通期実績	上期実績	下期実績	第2Q時予想	第2Q時予想比	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	2,373億円 【2,470億円】	1,106億円	1,267億円	2,370億円	+3億円	2,320億円	+53億円 【+150億円】	(+2.3%) (+6.4%)
営業利益	46億円 【64億円】	4億円	42億円	58億円	▲12億円	56億円	▲11億円 【+8億円】	(▲18.9%) (+13.2%)
経常利益	40億円 【58億円】	1億円	39億円	51億円	▲10億円	48億円	▲8億円 【+10億円】	(▲16.5%) (+20.0%)
当期純利益	▲24億円 【▲8億円】	▲34億円	10億円	▲17億円	▲8億円	▲7億円	▲17億円 【▲1億円】	(-) (-)

【】内はのれん償却前、09年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものの。

《通期決算のポイント》

〈要約〉

売上は、米国ウェンダルトン(以下WD)統合が寄与し、増収を確保。利益面では、米国においてWDの統合効果が予想以上であったものの、三和シャッターの営業停止影響及び国内グループの不振が重なり、営業減益となった。最終利益は、多額の公取課徴金の支払等により大幅赤字となった。

売上高

売上実績は、2.3%(53億円)、為替影響を除く実質ベースでは6.4%(150億円)の増収。国内は、▲6.1%の減収。営業停止の影響が大きく、軽量シャッターが落込んだ他、BMドア等主力商品も影響を受け、減収となった。米国(ODC)は、現地通貨ベースで63.2%の大幅増収。WD統合効果や車両ドアの回復(前年比18%増)が寄与したが、住宅用・商業用ドアは市場回復が遅れ、また新型開閉機の発売遅れもマイナス要因となった。欧州(NF)は、現地通貨ベースで▲9.0%と大幅減収となった。年後半の住宅市場の持ち直しによりガレージドアは前年並となったが、一般ドア、産業用ドアは減収となった。

営業利益

営業利益は、▲11億円の減益となったが、WDのれん償却前、為替影響を除くと+8億円の実質増益であった。国内は、三和シャッターの営業停止による▲11億円の影響が大きく、子会社事業強化策に伴う先行投資影響もあり、大幅減益となった。米国(ODC)は、WD統合シナジーが予想以上に貢献し、\$25.5百万の大幅増益を確保した。欧州(NF)は、各事業でコストダウンを進めたものの、非住宅用ドアの需要が回復が遅れ、0.8百万ユーロの減益となった。

経常利益

経常利益は、WDのれん償却・為替影響を除くと+10億円の実質増益。

為替レート	2008	2009	2010	2011予想
1ドル	91.03	93.72	87.32	83.00
1ユーロ	127.96	130.56	115.09	115.00
			(09年より期中平均)	

当期純利益

当期純利益は▲24億円の赤字。公取課徴金支払(▲28億円)が主因。震災関連費用を▲3億円特損に計上。(P31参照)

4. 比較損益計算書

【比較損益計算書】

(億円)

連結P/L	2010年3月期		2011年3月期		前年比
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	2,320	100	2,373	100	
売上原価	1,731	74.6	1,794	75.6	+1.0%
売上総利益	589	25.4	579	24.4	
販売費及び一般管理費	533	23.0	533	22.5	+0.4億円
営業利益	56	2.4	46	1.9	
営業外損益	-8	-	-5	-	+2.7億円
経常利益	48	2.1	40	1.7	
特別損益	-51	-	-50	-	+0.7億円
当期純利益(損失)	-7	-0.3	-24	-1	

国内事業での営業停止による、商品構成の変化と販売価格の悪化等によるもの

為替影響 ▲22.6億円
のれん +15.2億円
実質増減 +7.4億円
(⇒WD統合による増加
⇒実質売上高比率では
大幅改善)

持分法投資損益+1.4億円
その他 +1.3億円

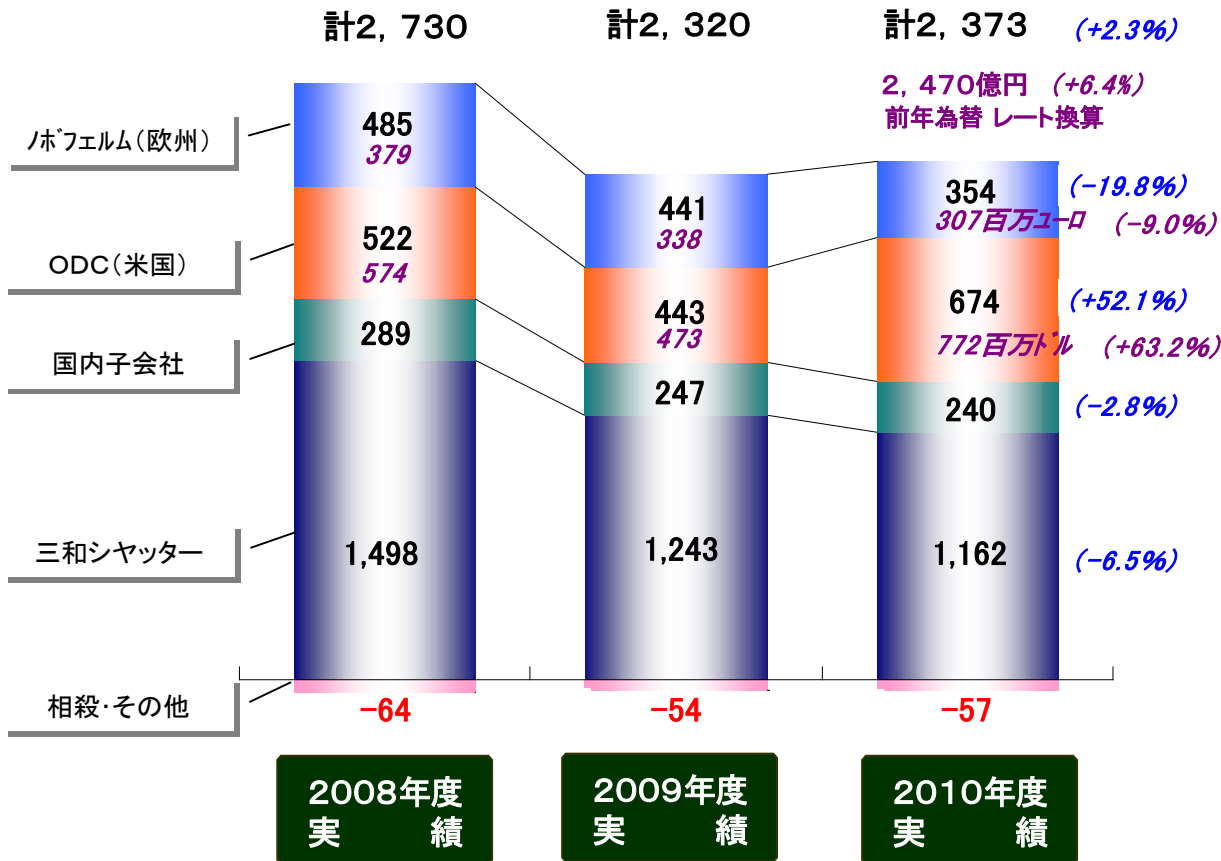
IT償却 +31.2億円
課徴金 ▲28.2億円
災害損失 ▲3.0億円
その他 +0.7億円
※P31参照

5. 通期連結売上実績(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値
(三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨で▲9.0%の減収

- ① 住宅市場底打ちでガレージドアは前年並みを維持 (▲0.1%)
- ② ヒンジドア事業は住宅・商業用とも減収 (▲15.8%)
- ③ 設備投資が低迷し、産業用ドアが減収 (▲12.3%)

<ODC(米国)>

現地通貨で+63.2%の大幅増収

- ① ドア事業はWD統合により大幅増収(+109.3%)
開閉機は新型開閉機発売遅れもあり微増収 (+2.9%)
- ② 自動ドアは積極的な販促等により前年並を維持 (+1.1%)
- ③ 車両用ドアは運輸業界の設備投資が回復基調で大幅増収 (+18.4%)

<国内子会社>

▲2.8%の減収

- ① 三和タジマは大型現場完工により増収(+9.2%)
- ② 昭和フロントは市場回復が弱く減収 (▲4.9%)
- ③ 沖縄三和(▲11.4%)、ベニックス (▲11.9%)

<三和シャッター>

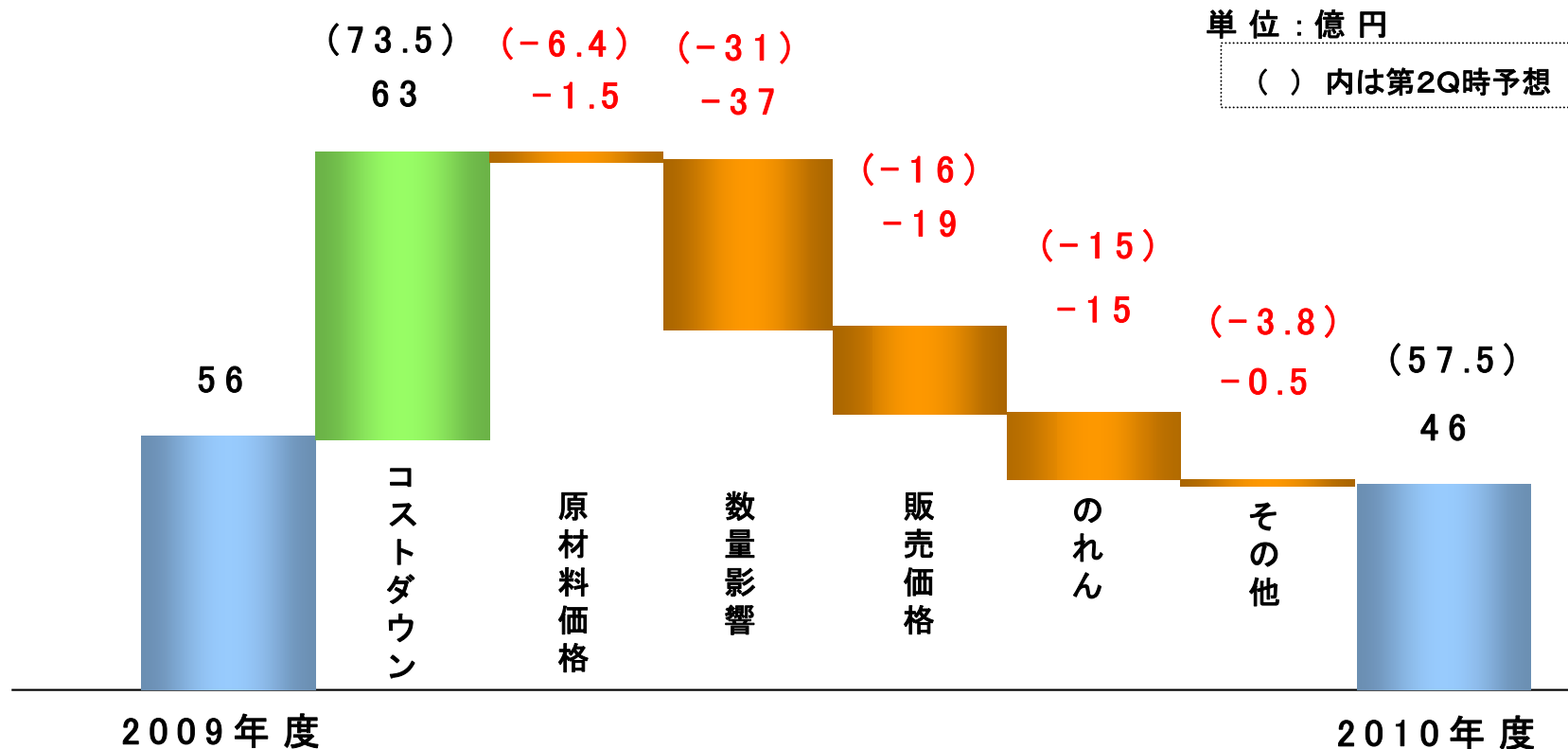
▲6.5%の減収

- ① 軽量シャッターは営業停止影響で減収 (▲5.6%)
- ② 重量シャッターは設備投資回復遅れの影響が主因で減収(▲8.5%)
- ③ ビル・マンションドアは需要回復遅れで減収(▲6.4%)
- ④ メンテ・サービスは堅調に推移し増収 (+2.3%)

為替レート	2008	2009	2010	2011予想
1ドル	91.03	93.72	87.32	83.00
1ユーロ	127.96	130.56	115.09	115.00
				(09年より期中平均)

6. 営業利益増減要因(連結実績)

三和グループ(連結)



第2Q時予想比

項目	2009年度	2010年度	項目	2009年度	2010年度
コストダウン	▲10.5		原材料価格	+4.9	
三和シャッター	▲6.0		三和シャッター	+0.0	
国内子会社	▲4.2		国内子会社	+2.8	
ODC(米国)	+0.2		ODC(米国)	+0.2	
NF(欧州)	▲0.4		NF(欧州)	+1.8	
数量影響	▲6.0		販売価格	▲3	
三和シャッター	▲7.0		三和シャッター	+0.0	
国内子会社	+1.4		国内子会社	▲2.8	
ODC(米国)	+2.2		ODC(米国)	▲0.9	
NF(欧州)	▲3.3		NF(欧州)	+0.7	

6. 営業利益増減要因(セクター別)

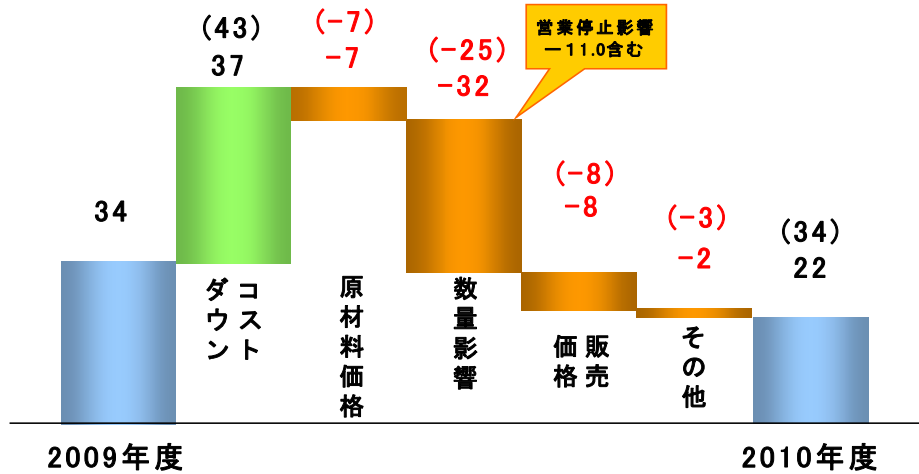
※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

三和シャッター

※三和シャッターは、
同社のみの個別数値

() 内は第2Q時予想

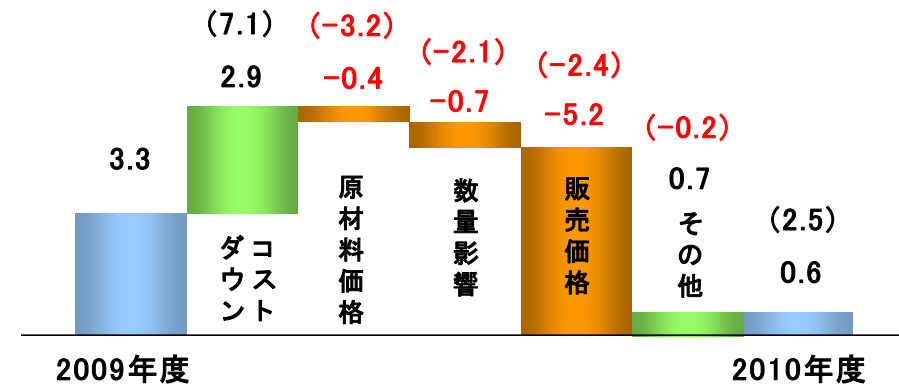
単位: 億円



国内子会社

() 内は第2Q時予想

単位: 億円

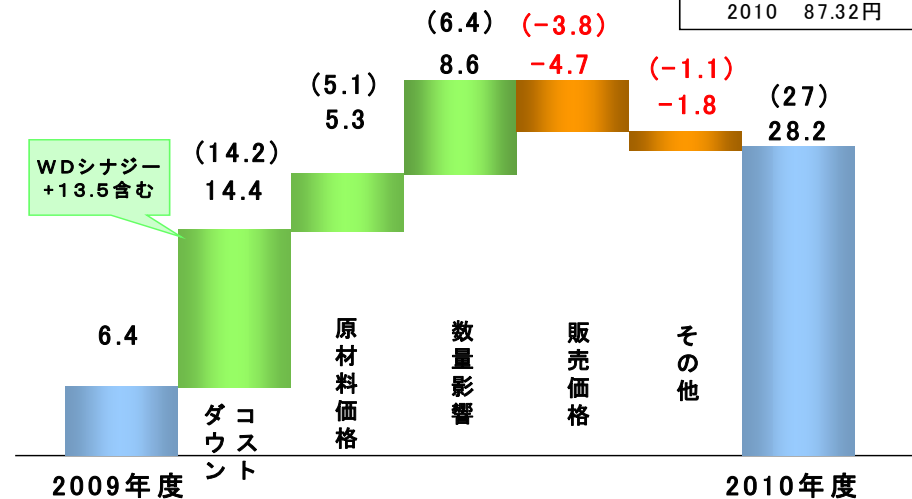


ODC

() 内は第2Q時予想

単位: 億円

為替レート(米ドル)
2009 93.72円
2010 87.32円

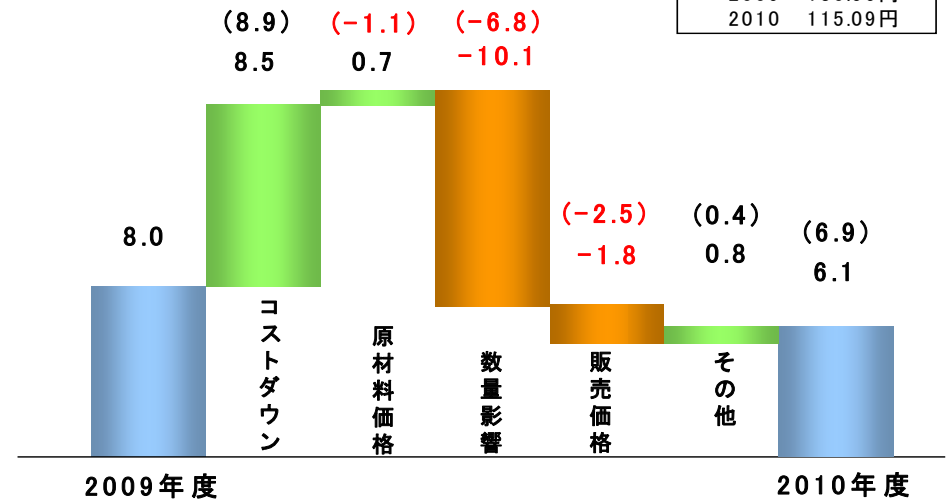


ノボフェルム

() 内は第2Q時予想

単位: 億円

為替レート(ユーロ)
2009 130.56円
2010 115.09円



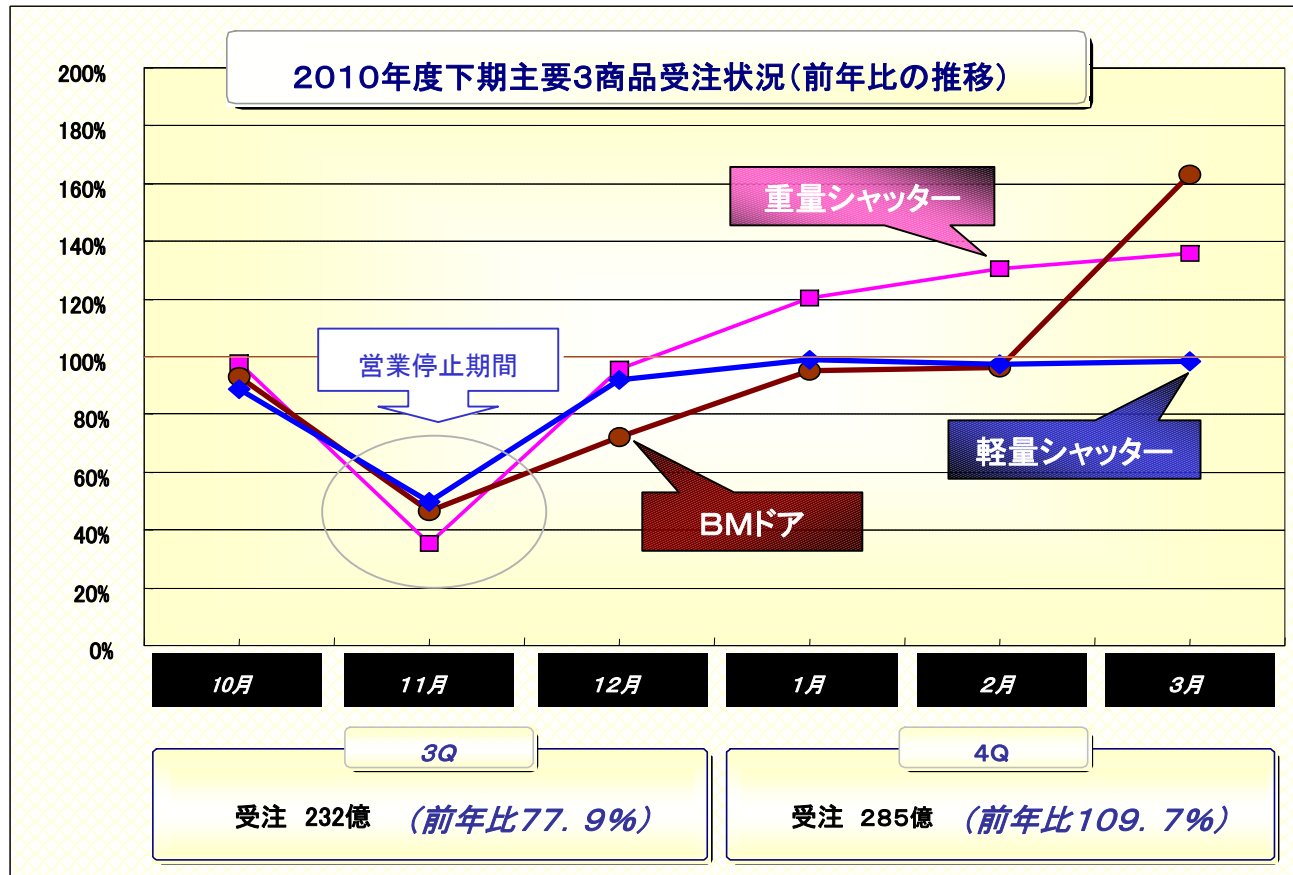
7. 三和シャッター営業停止影響について

--- 営業停止の影響額 ---

	3Q	4Q	影響額計
受注	▲62.0億円	23.0億円	▲39億円
売上	▲26.0億円	▲2.0億円	▲28億円
営利	▲10.5億円	▲0.5億円	▲11億円

--- 11年度への営業停止の影響額 ---

営業停止期間後の主要商品の受注が大幅に回復しているため、11年度への影響はほとんど残らないと見込む。

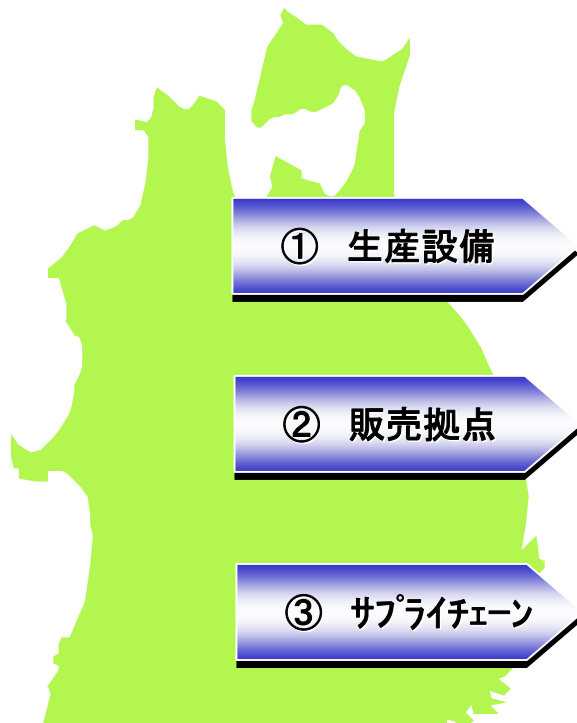


独占禁止法違反関連 についての状況報告

10年11月10日以降、審判が3回開催されたが、現状公取委側に対し、当社側主張で抗弁している段階

- 価格カルテル
排除措置命令、課徴金納付命令について係争中
- 近畿地方談合
課徴金の算定根拠について係争中

8. 東日本大震災の影響について①



1. 当社の被災状況

三和シャッター工業足利工場(栃木県)の設備が一部損傷を受けたが、数日で復旧し、現在は通常通り稼働

東北、関東地方の多くの営業所が被害を受け、一部を除いてほぼ復旧、3月28日には全営業所において営業は再開

電装品用バッテリー(蓄電池)、OSDパネル、不燃シートなどが一部供給不足に陥ったものの、徐々に回復しており、影響は軽微



2. 業績への影響

2010年度	売上高	▲ 4億円	東北エリアを中心に、3月11日以降の売上や営業利益に影響が出た。
	営業利益	▲ 1億円	
	特別損失	▲ 3億円	補修費、回収不能債権など

8. 東日本大震災の影響について② (今後の予測とリスク)

3. 今後本格的な復興に向けた予測ステップ

震災直後

シャッター等の点検・応急処置
東北・関東エリアで多数のご要請

復興初期 (~半年)

シャッター等の修理・取替、仮設住宅へのドア供給
修理依頼は東北・関東において通常の2倍~3倍(津波地域以外)
仮設住宅ドアをプレハブメーカー向けに約6千枚供給

中期 (~3年)

-- 学校・病院等の再建は比較的早期に始まると見込む
学校、病院、店舗、工場、倉庫、事務所など非住宅分野の着工
軽量シャッター、重量シャッター、オーバースライダー、間仕切などの需要

長期 (~5年)

-- 住宅の再建までには相当な時間が掛かると見込む
戸建住宅や集合住宅の着工
軽量シャッター、ガレージドア、マンションドアなどの需要

4. 課題・リスク

- ① 復興計画・・・政策決定の遅れ、原発収束時期、まちづくり計画の困難さ等
- ② 個人・企業等の消費・設備投資意欲減退・・・建設関連市場の落ち込み
- ③ 部品・部材調達を含めた生産・供給能力・・・夏場の節電も含めた体制
- ④ 施工技術者の確保・・・首都圏、西日本エリアからの緊急支援体制

◆ 現段階では、復興による需要の増加分について時期・規模等不確かなため、11年度の予想には織り込めず！ (修理等のみ一部見込んでいる。)

■ 2011年度 通期(予想)
2011年4月～2012年3月

9. 外部環境予想

■実質GDP成長率

	2006	2007	2008	2009	2010	2011 予想	2012 予想
日本	2.0%	2.4%	-1.2%	-6.3%	3.9%	1.4%	2.1%
米国	2.7%	1.9%	0.0%	-2.6%	2.8%	2.8%	2.9%
欧州（ユーロ圏）	3.1%	2.9%	0.4%	-4.1%	1.7%	1.6%	1.8%
ドイツ	3.6%	2.8%	0.7%	-4.7%	3.5%	2.5%	2.1%
中国	12.7%	14.2%	9.6%	9.2%	10.3%	9.6%	9.5%

※出典：内閣府「海外経済データ2011.3」、2011-12予想はIMF「World Economic Outlook」2011.04による

《注》

国内の2011年度各種指標は、
震災影響が加味されていますが、
今後の状況変化により更に修正
される可能性があります。

■建設環境

		2006		2007		2008		2009		2010				2011	
		実績	第2Q時予想	実績	第2Q時予想	実績	第2Q時予想	実績	第2Q時予想	実績	第2Q時予想	実績	第2Q時予想	実績	第2Q時予想
日本 住宅着工戸数	千戸	1,285	2.9%	1,036	-19.4%	1,039	0.3%	775	-25.4%	821	5.9%	824	6.3%	852	3.8%
日本 非住宅着工床面積	千㎡	65,920	0.6%	57,865	-12.2%	53,454	-7.6%	34,859	-34.8%	36,934	6.0%	37,337	7.1%	39,131	5.9%
日本 民間企業設備投資	10億円	87,097	4.7%	87,788	0.8%	81,757	-6.9%	70,615	-13.6%	74,287	5.2%	72,500	2.7%	76,441	2.9%
米国 住宅着工戸数	千戸	1,801	-12.9%	1,355	-24.8%	906	-33.2%	554	-38.8%	587	6.0%	620	11.9%	630	7.3%
米国 非住宅着工床面積	百万Sq Ft	1,529	5.3%	1,534	0.3%	1,381	-10.0%	917	-33.6%	510	-44.4%	512	-44.2%	481	-5.6%
米国 設備投資	10億ドル	1,454	7.9%	1,552	6.7%	1,557	0.3%	1,291	-17.1%	1,365	5.7%	1,355	5.0%	1,462	7.1%
欧州 住宅完工戸数（独仏伊蘭）	千戸	1,011	9.8%	996	-1.4%	932	-6.4%	821	-11.9%	723	-11.9%	729	-11.2%	719	-0.6%
欧州 非住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	98,988	8.5%	104,686	5.8%	106,489	1.7%	96,652	-9.2%	88,693	-8.2%	87,543	-9.4%	88,283	-0.5%
ドイツ 住宅完工戸数	千戸	221	3.2%	185	-16.0%	152	-17.8%	137	-10.4%	157	15.0%	157	15.0%	166	5.7%
ドイツ 非住宅建物投資	百万ユーロ	28,465	3.6%	30,874	8.5%	33,189	7.5%	32,194	-3.0%	33,160	3.0%	31,748	-1.4%	33,325	0.5%

※出典：(日)建設経済研究所2011.04、(米)Blue Chip Economic Indicators2011.04、(欧)Euroconstruct2010.12による。日米の2011設備投資予想はニッセイ基礎研究所

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

為替レート 2008 2009 2010 2011予想
1ドル 91.03 93.72 87.32 83.00
1ユーロ 127.96 130.56 115.09 115.00
(09年より期中平均)

《2011年度通期予想》

	通期予想	上期	下期	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	2,504億円 【2,541億円】	1,119億円	1,385億円	2,373億円	131億円 【168億円】	(+5.5%) (+7.1%)
営業利益	100億円 【102億円】	16億円	84億円	46億円	54億円 【56億円】	(+119.2%) (+124.1%)
経常利益	97億円 【99億円】	15億円	82億円	40億円	57億円 【59億円】	(+140.5%) (+145.8%)
当期純利益	45億円 【46億円】	2億円	43億円	▲24億円	69億円 【71億円】	(+) (+)

【】内は10年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものと。

《通期予想のポイント》

〈要約〉

売上は各事業会社で回復基調が定着しつつあることにより、前期比+131億円の増収を見込む。利益は、増収による増益に加えて、前期ののれん償却と営業停止影響がなくなることにより、大幅な増益を見込む。(震災影響は一部修理等を除いて不明)

売上高

連結で5.5%(為替変動を除いた実質ベースで7.1%)の増収を見込む。
国内は、4.1%の増収。前年の営業停止影響▲28億円、震災影響によるシャッター修理等の一時的増加等を見込む。但し、本格的な復興需要は見込まず。米国(ODC)は、WD統合効果、新型開閉機の販売増、買収した自動ドアディストリビューターの寄与、車両用ドアの需要回復等で11.4%(現地通貨ベース)の増収。
欧州(NF)は、ガレージドア、住宅・産業用ドアが回復基調であり、通期で10.6%(現地通貨ベース)の増収を見込む。

営業利益

連結で119.2%の+54億円(為替変動を除いた実質ベースでは+56億円(124.1%)の大幅増益を見込む。
国内は、24億円(96.9%)の大幅増益。三和シャッターは前期営業停止影響▲11億円の回復と増収効果を見込み、国内子会社もコストダウンを中心に4億円の増益を見込む。米国(ODC)は引続きドア会社の統合効果(\$15百万)、新型開閉機効果(\$9百万)が大きく\$18.7百万の大幅増益(57.7%)。欧州(NF)は、住宅・産業用ドアの回復により4.7百万ユーロ(88.3%)の増益に。連結では前期のれん償却負担(▲15億円)の解消も増益要因。

経常利益

前年比140.5%の+57億円(為替変動を除いた実質ベースでは+59億円)の大幅増益。持分法投資損益の改善が寄与。

当期純利益

前期は公取課徴金(▲28億円)の影響で赤字となったが、今期は+69億円(為替変動を除いた実質ベースでは+71億円)の増益を見込み、45億円の黒字に。

一株純利益

18.7円

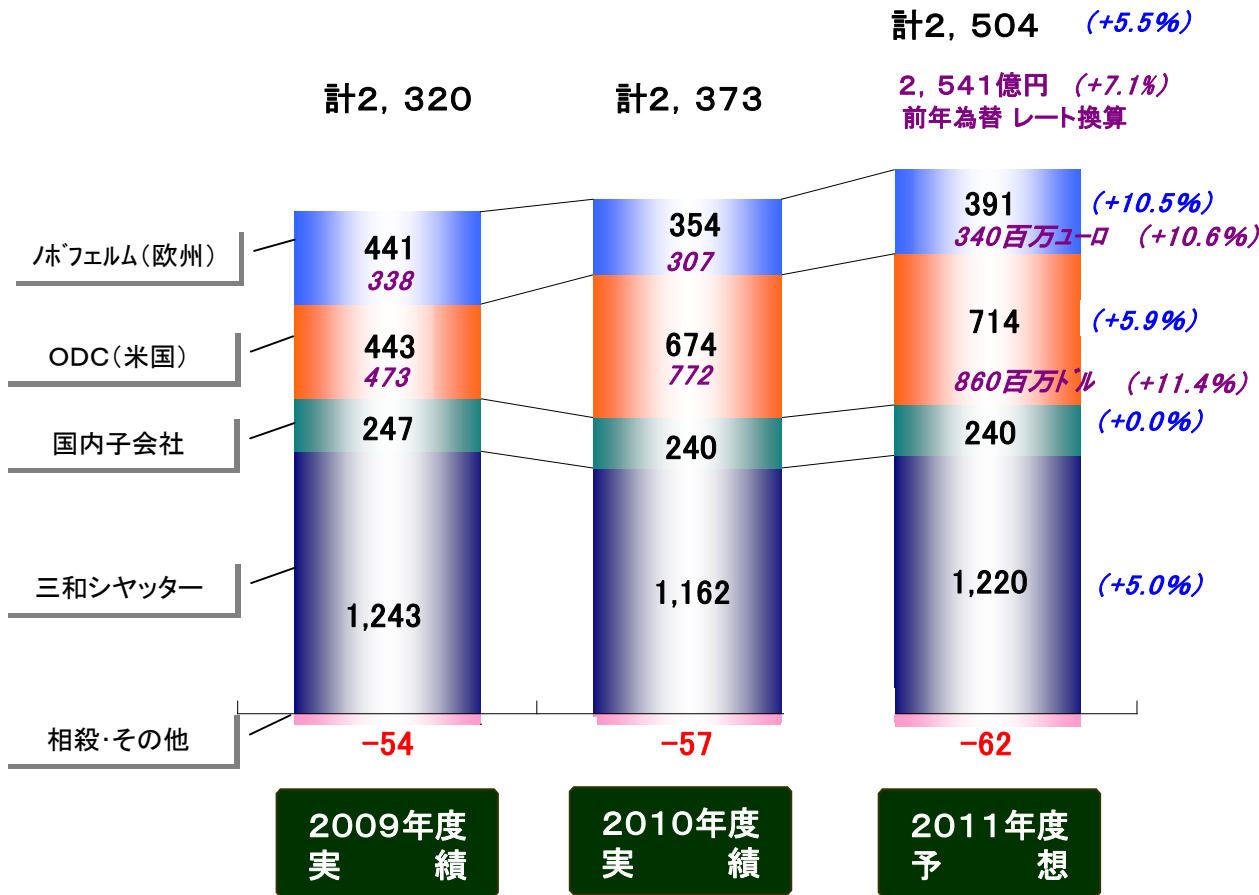
為替レート 2008 2009 2010 2011予想
1ドル 91.03 93.72 87.32 83.00
1ユーロ 127.96 130.56 115.09 115.00
(09年より期中平均)

11. 2011年度売上(セクター別)予想

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値 (三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨+10.6%の増収見込

- ① 住宅市場(ガレージドア)は回復見込み
- ② ドイツを中心に、商業用・産業用ドアも徐々に回復の見込み

<ODC(米国)>

現地通貨+11.4%の増収見込

- ① 住宅市場回復が遅れているものの、改築市場を中心に拡販し、ガレージドアの増収を見込む
- ② 新型開閉機シェアアップによる増収を見込む
- ③ 自動ドアは買収したディストリビュータ分の増収
- ④ 車両用ドアは引き続き回復が続き、前年比増収を見込む

<国内子会社>

前年横ばいを見込む

- ① 三和タジマは受注残減少により減収見込み
- ② 昭和フロント、沖縄三和、ベニックスは産業用建設投資が徐々に回復しているため増収を見込む

<三和シャッター>

+5.0%の増収見込

- ① 軽量シャッターは、前期営業停止の影響がなくなることで増収を見込む
- ② 重量シャッターは建設需要の回復を見込み増収
- ③ ビルマンションドアはマンション市場回復により増収の見込み
- ④ メンテサービスは震災の影響により修理が一時的に増加し増収を見込む

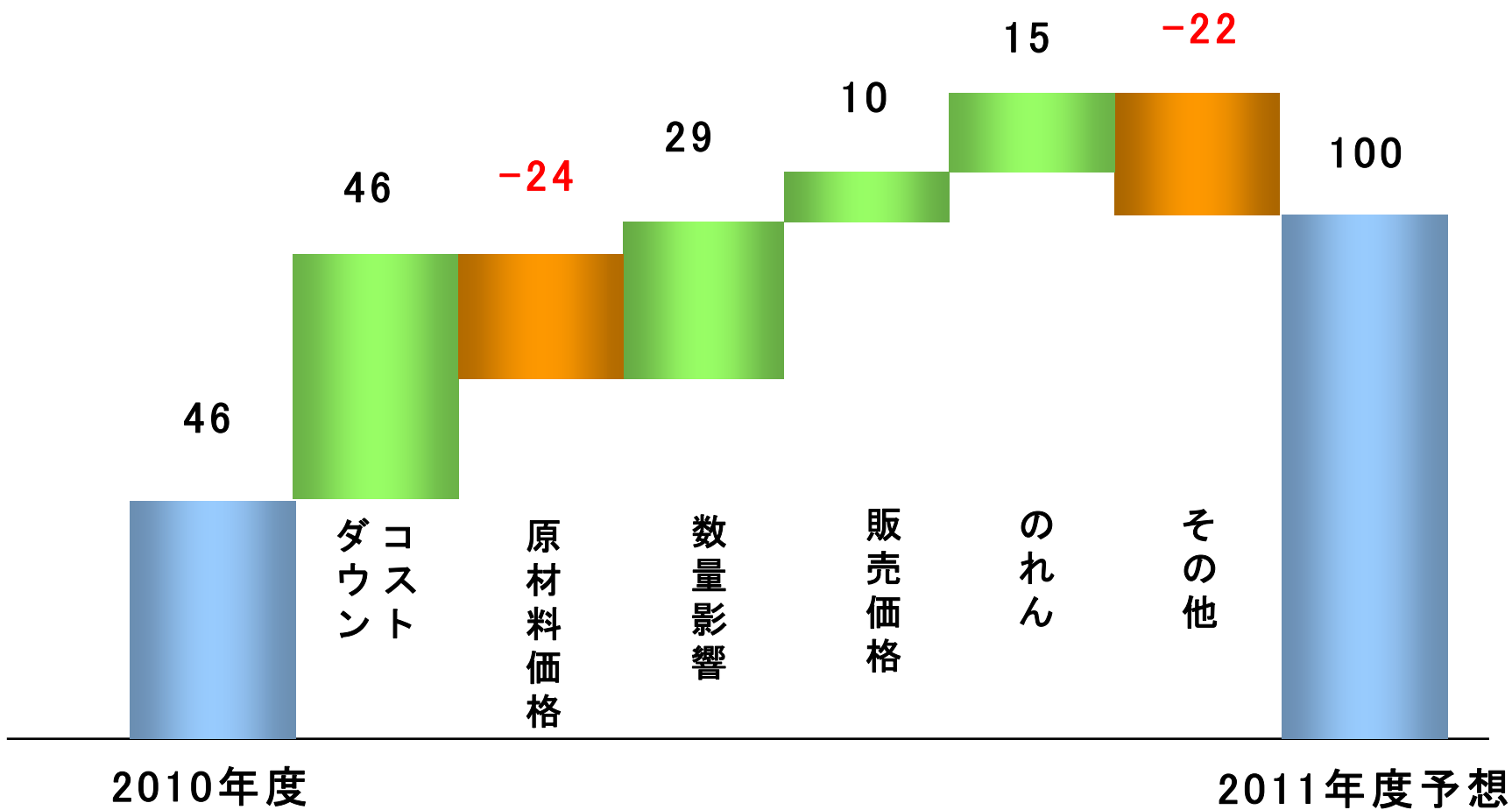
為替レート	2008	2009	2010	2011予想
1ドル	91.03	93.72	87.32	83.00
1ユーロ	127.96	130.56	115.09	115.00

(09年より期中平均)

12. 営業利益増減要因(連結)

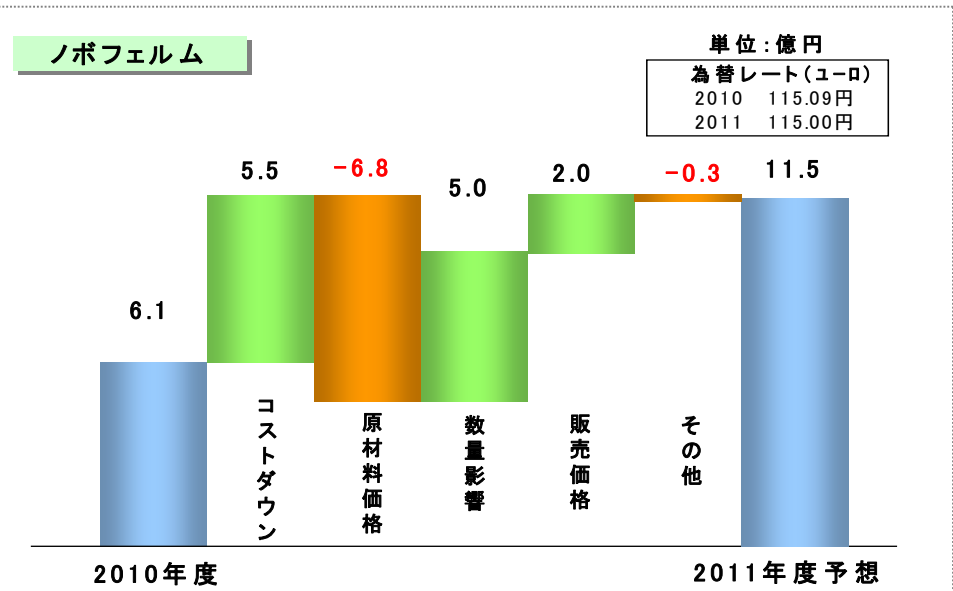
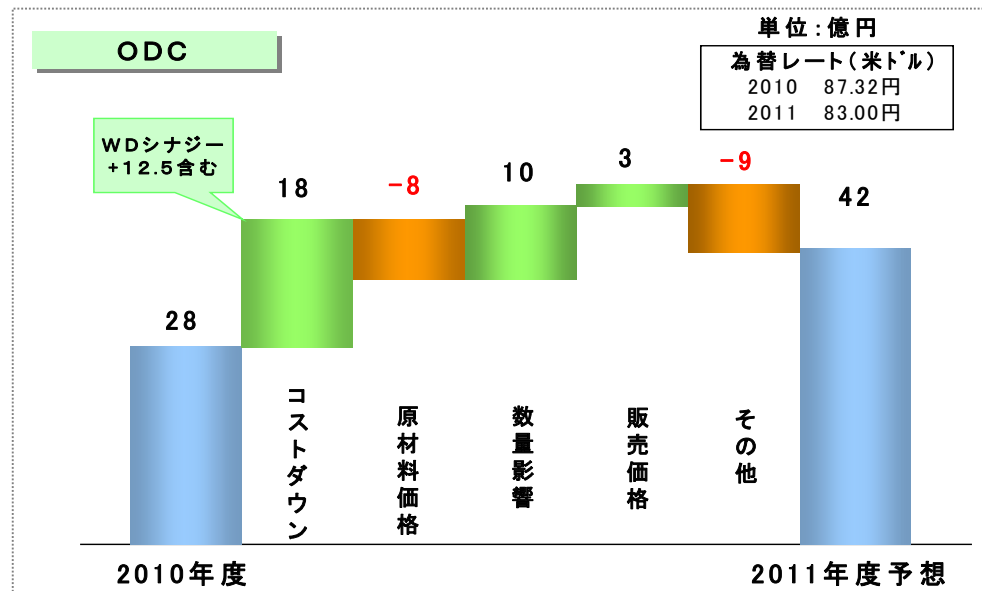
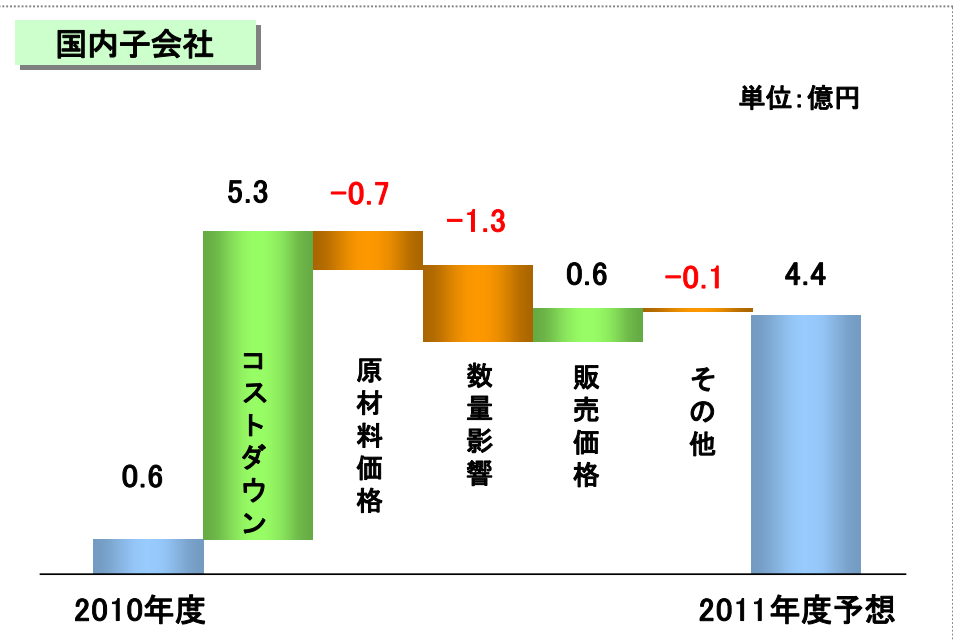
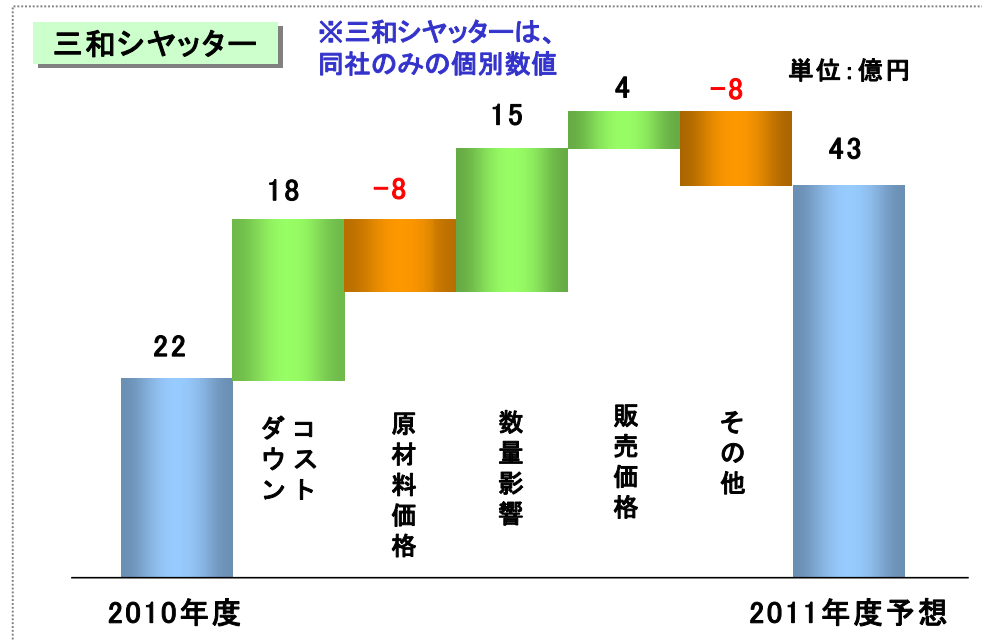
三和グループ(連結)

単位: 億円



12. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません



■ 戦略課題の進捗

13. 構造改革及びTCRの取組み(国内)

◆国内事業



(百万円)

	実施項目	09年度実績	10年度		11年度予想
			実績	第2Q時予想	
TCR	ものづくり再構築 商品別CR				
	TCR計	400	1,320	1,330	1,100
固定費	人件費(残業時間削減他) 販売管理費				
	固定費計	2,650	1,030	1,520	235
構造改革	要員管理				
	施工体制の再構築				
	設計部門の内作化				
	製品ごとの生産拠点の見直し				
	不採算事業の再構築他				
	構造改革計	1,165	1,353	1,420	429
	三和シャッター工業計	4,215	3,703	4,270	1,764
	国内グループ計(TCR + 固定費 + 構造改革)	530	289	710	530
	三和シャッター + 国内グループ合計額	4,745	3,992	4,980	2,294



14. ODC & WD 統合シナジー

◆ODC(米国)

	10年度		11年度予想
	実績	第2Q時予想	
販売(主に開閉機)	2,167	1,100	2,000
販売拠点の見直し	1,165	650	1,000
米国内ドア工場の最適化	779	530	6,000
購買・調達	8,787	6,100	5,000
輸送合理化	1,661	550	1,000
その他(人事・IT・財務など)	878	1,050	0
	(13.5億円)		(12.5億円)
合計	15,437	9,980	15,000

(千ドル)



◆ODCとWDの統合は順調に推移、10年度実績は第2Q時予想から5百万ドル以上上振れし、11年度のシナジー効果は15百万ドルを超える予想！



為替レート	2008	2009	2010	2011予想
1ドル	91.03	93.72	87.32	83.00
1ユーロ	127.96	130.56	115.09	115.00
			(09年より期中平均)	

15. ODC開閉機事業について

◆ODC(米国)開閉機事業について

1. 組織改革

開閉機部門を独立させ、従来のASD部門をドア部門と開閉機部門(GENIE)に分離
⇒ジニーブランドの再構築とODC以外のガレージドア会社への取引を拡大

2. 新型開閉機(住宅用)について

		10年度		千ドル 11年度予想
		実績	第2Q時予想	
売上高	(新型開閉機)	(433)	(330)	(62,000)
	トータル	88,007	81,500	110,000
住宅用開閉機シェア		32%	32%	↑ 35% 12年度目標 42%



販売動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ディストリビューター向け説明会に続き、全米6地域においてプロユーザー向け発売説明会を開催 ・ウェインダルトンディーラー向けにも新型開閉機の説明会を開催 ※参加企業数:合計で約700社、顧客からの評価は高く、説明会は成功! ・足もと販売動向は、悪天候及び市場停滞によりスロースタート
製品ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・DCモーターを活用したことによってハイパワー及び開閉音の静かさを実現 ・最新の無線、電子技術を駆使したアクセサリーを組み合わせることで、開閉機の機能拡張機会を提供できる(例:液晶パネル付き無線キーパッド他)



16. NFの構造改革及びTCRの取組み

◆NF(ノボフェルム)



単位:千ユーロ

実施項目		09年度実績	10年度		11年度予想
			実績	第2Q時予想	
NFプロジェクト	物流プロジェクト	1,400	3,200	3,400	2,200
	ドイツ販売網の整備				
	ドア・フレーム収益改善				
	産業用ドアコスト削減				
	NFドアプロジェクト				
その他TCR (人件費、管理費削減など)		6,400	4,178	4,350	2,600
コストダウン合計		(10.2億円) 7,800	(8.5億円) 7,378	7,750	(5.5億円) 4,800

17. アジア事業の基盤拡充

◆アジア主要4社

	09年度実績	10年度実績	第2Q時予想	11年度予想
売上高	23億円	26億円	26億円	40億円
営業利益	0億円	0.1億円	0.1億円	2.8億円

上海宝産三和



- ・10年度は、売上は前年比10%増収(現地通貨ベース)となったが、営業利益は固定費増により前年並となった。
- ・11年度は、営業エリア拡大、メンテサービス網強化等により大きく飛躍の年とすべく供給を含めた体制強化中



ビナサンワ

(ベトナム)



- ・10年度は、施工を含めた体制整備に遅れもあり、売上・営業利益は計画未達
- ・11年度は、受注拡大のため販売エリアをベトナム中部ダナンへも進出



安和金属

(台湾)

- ・10年度は増収となるも、ローカル企業からの受注比率が高まり減益
- ・11年度は、シャッター・ステンレス等の事業拡大及び合併パートナーと協力し、高雄・台南等更なる販路の拡大



N F 上海



- ・10年度は8月に防火ドアライセンスを取得後、受注が拡大
- ・11年度は更なる受注拡大に対応出来る安定供給体制の確立



◆グローバルシナジー進捗

区分	取組みテーマ(一部)	09年度実績	10年度		11年度予想
			実績	第2Q時予想	
開発・生産技術関係	・シャッター、ドアの電装部品の共有化 ・シャッター、ドア製品のグローバル生産 (グループ会社製品の生産販売)	1.0億円	1.3億円	1.8億円	3.8億円
調達関係	・中国製開閉機、部材の購入 ・グループサプライチェーン構築	10.4億円	5.2億円	6.0億円	5.3億円
	合 計	11.4億円	6.5億円	7.8億円	9.1億円

※上記実績金額は、各グループ会社のTCR効果等に含まれる。

《取組状況》日米欧各社のマーケティング・開発部長により製品及び技術シナジーの追求を展開中

発売したもの

1. 三和シャッターのカーポートをNFオランダとNFフランスで発売
2. 三和シャッターのスムードの機構を活用し、ホートン(米国)で新型引き戸を発売

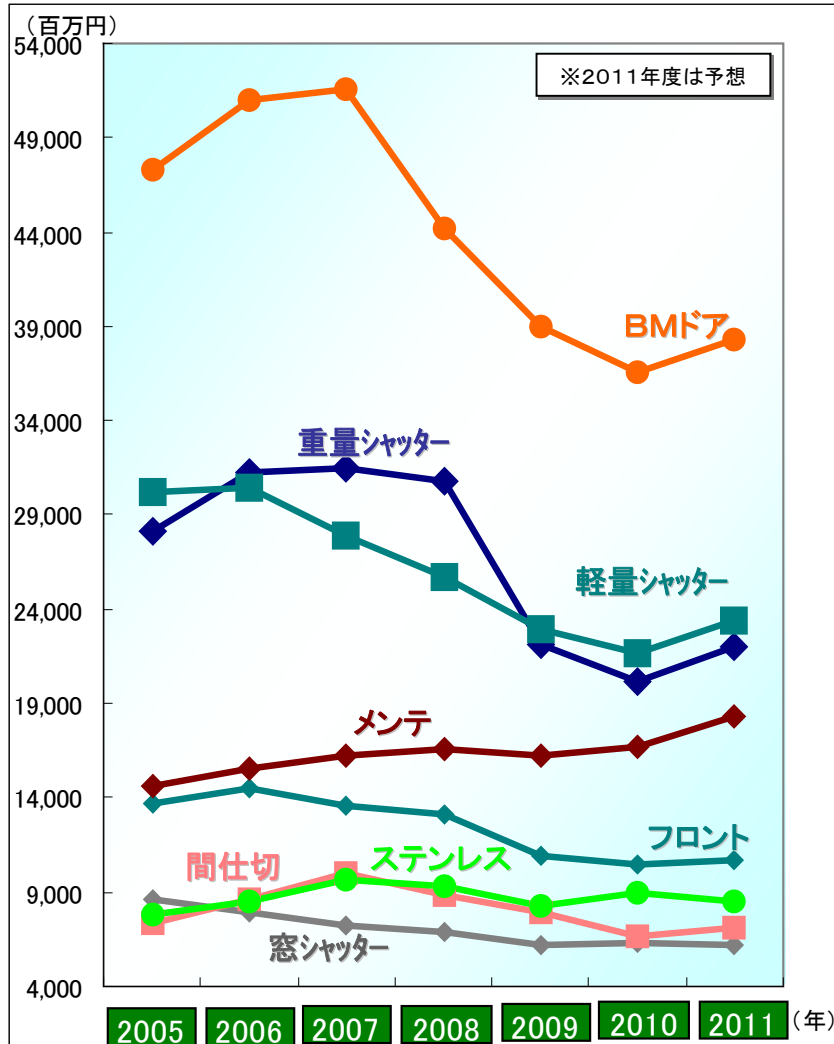
検討中のもの

1. WDのガレージドアを日本へ輸入(2011年内に販売予定)
2. ジニー製ガレージドア用の新型開閉機を日本へ輸入(2012年を予定)
3. 三和シャッターの防火スクリーンを米国で製造・販売

■ 参考資料

参考資料1. 各地域の動向(国内)

主要商品売上高推移



市場環境 & 11年度見通し

軽量シャッター

10年度は、下期に営業停止の影響があったことにより落ち込んだが、11年度は顧客管理の徹底と店舗やガレージなど用途別に販売戦略を立案・徹底し増収を見込む

重量シャッター

設備投資の回復、学校改修に向けた安全商品等の拡販などにより増収見込み

BMドア

ビル商業施設の緩やかな回復及び医療・福祉施設、マンション着工回復等による軽量ドアの増収を見込む

フロント

アルミフロント周辺部商品の品揃えの充実、メンテナンス事業の強化、自動ドアエンジンを含めたトータルな提案でグループ総合力を高めることにより微増収の見込み。

ステンレス

三和タジマが、10年度末受注済手持ち物件の減少により11年度は減収を見込むが、グループ連携強化により拡販を狙う

間仕切

学校改修関連の拡販、トイレブースの売れ筋ラインの開発強化等により増収の見込み

窓シャッター

電動化の提案によるストック市場の掘り起し、ローコスト窓シャッターの提案などにより、微増収の見込み

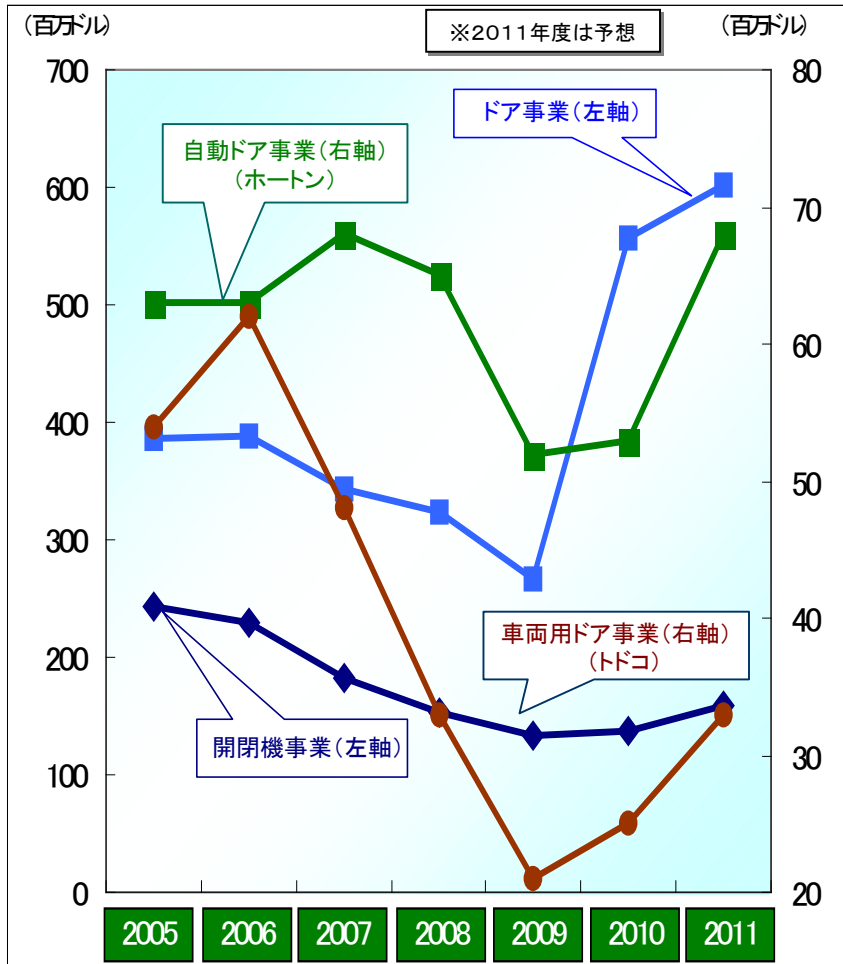
メンテ・サービス

10年度に引き続き、法人部門によるメンテ契約拡大などに注力すること、及び11年度は震災対応により一時的に需要増を見込む



参考資料1. 各地域の動向(ODC:米国)

事業別売上高推移

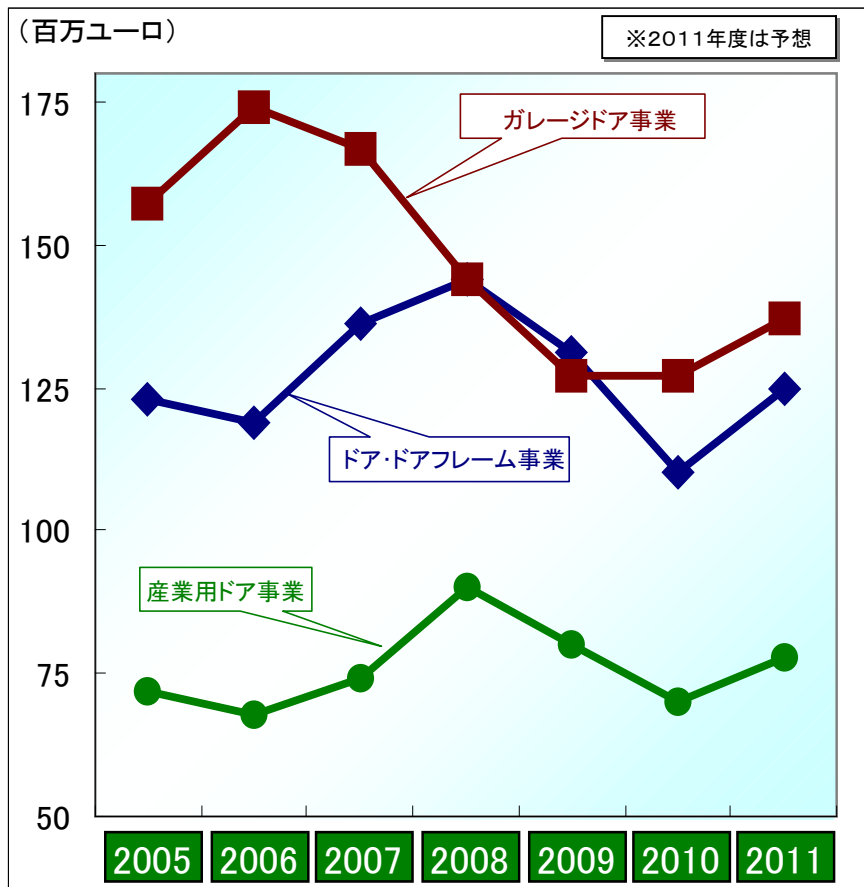


市場環境 & 11年度見通し	
ガレージドア 商用用ドア	<p>ガレージ用ドア、商用用ドアとも増収を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェインダルトン(WD)統合によるシナジー効果の実現 ・新製品投入等と両ブランドのチャンネルを有効活用したシェアの拡大 ・生産拠点の最適化、グローバル調達強化等によるコスト削減 ・新築が伸び悩む中、改築市場に焦点を当てた販促活動、価格戦略で増収を見込む
開閉機	<p>新型開閉機発売をテコにしたシェアの奪回とジニーブランドの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存顧客の販売量維持及び新たな需要掘り起こし ・効果的な販促活動を展開することにより、大手ホームセンターの取扱機種数を競合他社から奪取する
自動ドア (ホートン)	<p>自動ドア事業は前年並の予想だが、施工サービス(メンテナンス)事業への参入による増収を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケア・セキュリティー・トランジット分野での販売シェア拡大を図る ・米国以外への売上増加に向けた営業活動を強化
車両用ドア (トドコ)	<p>運輸業界の車両投資は回復基調が継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断熱機能を高めた新商品を開発し、新たな顧客層開拓を目指す ・中国からのパーツ輸入による部品販売の品ぞろえを強化する



参考資料1. 各地域の動向(ノボフェルム:欧州)

事業別売上高推移



市場環境 & 11年度見通し	
ガレージドア	<p>ドイツを中心としたマクロ経済回復で増収を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ、英国での拡販に加え、生産、物流、販売体制の再構築を推進 ・フランスを中心にWDヨーロッパとの相互販売によるシナジーの創出
ドア・ドアフレーム (ヒンジドア)	<p>住宅向けの回復に続いて、商業用についても徐々に回復を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工の容易さ、各国の防火性能に合わせた仕様の変更を行うことで、ドイツや東欧での拡販を見込む ・生産性の改善に取り組むことで競争力を高める
産業用ドア	<p>市場は底を打つが、受注から売上までのリードタイムが長く、本格回復は2012年度以降にズレ込む見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品揃え拡充による拡販と、生産面でのコスト・ダウンやメンテサービス体制の充実により増収を見込む



参考資料2. 主要経営指標

主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 予想
売上高 (百万円)	323,445	272,970	232,029	237,295	250,400
営業利益 (百万円) (のれん償却前)	15,887	8,070 (11,288)	5,624	4,562 (6,078)	10,000
純利益 (百万円) (のれん等償却前)	8,227	2,312 (5,530)	-725	-2,443 (1,887)	4,500
売上高営業利益率 (百万円) (のれん償却前)	4.9%	3.0% (4.1%)	2.4%	1.9% (2.6%)	4.0%
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均) (のれん等償却前)	5.5%	2.3% (5.5%)	-0.8%	-2.7% (2.1%)	5.2%
自己資本比率(期末)	48.0%	41.3%	39.0%	39.3%	39.5%
期末純資産 (百万円)	149,330	95,365	96,110	86,021	88,600
期末総資産 (百万円)	310,957	231,054	246,599	218,933	224,200
期末有利子負債 (百万円)	70,775	54,482	74,628	59,892	57,000
D/Eレシオ: 有利子負債/純資産 (倍)	0.47	0.57	0.78	0.70	0.64
SVA(Sanwa Value Added) (百万円)	1,457	-820	-3,376	-2,697	-320
EPS: 1株純利益 (円) (のれん償却前)	33.4	9.6 (23.0)	-3.0	-10.2 (7.9)	18.7
発行済株式数(期中平均) (千株)	245,972	240,956	240,336	240,321	240,307

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVA的数値。 2. 2010年度の純利益(のれん等償却前)は、のれん償却と公取課徴金を除いたもの。

参考資料3. トピックス(財務)

1. 配当について

07年度		08年度		09年度		10年度		11年度予想	
中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
6.5円	6.5円	6.5円	3.5円	0円	5円	4円	4円	4円	4円

◇11年度配当予想：8円(前年同額)

1株利益予想：18.7円

配当性向：42.7% (目安は30%)

2. 特損の状況

(百万円)

	09年度実績	10年度		11年度予想
		実績	第2Q時予想	
固定資産処分損	▲3,152	▲44	▲80	▲300
投資有証売却損、評価損	▲400	▲269	▲80	0
年金改革費用	0	▲650	▲900	0
ODC事業再構築費用	▲370	0	0	0
ODC(WD統合費用)	0	▲580	▲830	▲330
ODC新型開閉機関連	0	0	0	▲420
NF事業再構築費用	▲750	▲248	▲150	▲330
買収関連費用	▲440	▲93	▲87	0
公取委課徴金	0	▲2,815	▲2,815	0
東日本大震災災害損失	0	▲304	0	0
その他	▲53	▲127	▲58	▲70
合計	▲5,165	▲5,130	▲5,000	▲1,450

参考資料3. トピックス

1. ADEグループの事業を買収(2011年1月)



ODCが、自動ドア販売ディストリビュータであるオートマテック・ドア・エンタープライズ(ADE)グループの事業を買収し、自動ドア事業における施工及びメンテナンスサービス事業に進出。



2. 環境配慮評価私募債を発行(2011年3月)



三和ホールディングスは、環境配慮状況の評価結果に応じて引受条件の設定が行われる私募債を発行。「環境ビジネスと環境コミュニケーション」「環境負荷の把握の状況」が評価され、総合評価ランク“A”を獲得。



3. 三和のBLドアシリーズ「BL玄関引き戸」発売(2011年4月)



三和シャッター工業は、財団法人ベターリビングが優良住宅部品として定めるBL基準に適合した玄関引き戸を発売。防火性能に加え、今回新たに防犯性能が加わった。引き戸ならではのバリアフリー構造と軽い操作性で、安全・安心・快適な毎日に貢献。



4. 東日本大震災の被災地に義援金を寄贈



東日本大震災の被災地および被災された方々への支援として当社から拠出した3,000万円に加えて、国内・海外のグループ従業員有志の募金等(海外分としてODC、ノボフェルム、ビナサンワ、サンメタル等から1,800万円)により集められた計5,100万円を寄贈。



宮城県 三浦副知事(左)への贈呈風景

参考資料. 4 セクター別連結業績の概要

(百万円、千ドル、千ユーロ)

	2009年度				2010年度				2011年度(予想)			
	第2四半期累計		通期		第2四半期累計		通期		第2四半期累計		通期	
	(@95.98 @128.33)	前年 増減率	(@93.72 @130.56)	前年 増減率	(@91.02 @119.27)	前年 増減率	(@87.32 @115.09)	前年 増減率	(@83.00 @115.00)	前年 増減率	(@83.00 @115.00)	前年 増減率
売上高 [前年為替適用]	108,024	(△23.1%)	232,029	(△15.0%)	110,609	(2.4%) [113,768] (5.3%)	237,295	(2.3%) [246,990] (6.4%)	111,900	(1.2%) [115,791] (4.7%)	250,400	(5.5%) [254,146] (7.1%)
三和シャッター工業	55,727	(△18.6%)	124,254	(△17.0%)	51,808	(△7.0%)	116,214	(△6.5%)	53,000	(2.3%)	122,000	(5.0%)
その他国内子会社	12,064	(△9.4%)	24,650	(△14.7%)	10,319	(△14.5%)	23,968	(△2.8%)	10,200	(△1.2%)	24,000	(0.0%)
ODC(米国)	\$216,498	(△23.3%) 20,779 (△30.8%)	\$472,885	(△17.6%) 44,318 (△15.1%)	\$366,062	(69.1%) 33,319 (60.3%)	\$771,881	(63.2%) 67,400 (52.1%)	\$400,000	(9.3%) 33,200 (△0.4%)	\$860,000	(11.4%) 71,380 (5.9%)
ノボフェルム(欧州)	€ 170,208	(△9.3%) 21,842 (△30.8%)	€ 337,892	(△10.8%) 44,115 (△9.0%)	€ 148,235	(△12.9%) 17,680 (△19.1%)	€ 307,351	(△9.0%) 35,373 (△19.8%)	€ 160,000	(7.9%) 18,400 (4.1%)	€ 340,000	(10.6%) 39,100 (10.5%)
営業利益 [のれん償却前・前年為替適用]	△573	(-)	5,624	(△30.3%)	368	(+) [1,192] (+)	4,562	(△18.9%) [6,366] (13.2%)	1,600	(333.7%) [1,713] (365.5%)	10,000	(119.2%) [10,221] (124.1%)
三和シャッター工業	9	(△99.7%)	3,380	(△53.8%)	425	(4,576.6%)	2,181	(△35.4%)	500	(17.5%)	4,300	(97.1%)
その他国内子会社	41	(△87.6%)	329	(△54.7%)	△200	(-)	61	(△81.2%)	△95	(+)	445	(619.5%)
ODC(米国)	△\$6,806	(-) △653 (-)	\$6,833	(△68.5%) 640 (△67.6%)	\$10,511	(+) 956 (+)	\$32,336	(373.2%) 2,823 (340.9%)	\$14,000	(33.2%) 1,162 (21.5%)	\$51,000	(57.7%) 4,233 (49.9%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,275	(-) △292 (-)	€ 6,099	(△24.4%) 796 (△22.8%)	△€ 1,109	(+) △132 (+)	€ 5,309	(△12.9%) 611 (△23.3%)	€ 400	(+) 46 (+)	€ 10,000	(88.3%) 1,150 (88.2%)
経常利益 [のれん償却前・前年為替適用]	△752	(-)	4,829	(△35.6%)	88	(+) [896] (+)	4,033	(△16.5%) [5,795] (20.0%)	1,500	(1,591.6%) [1,602] (1,720.5%)	9,700	(140.5%) [9,912] (145.8%)
三和シャッター工業	191	(△93.5%)	3,766	(△51.1%)	638	(233.5%)	2,587	(△31.3%)	700	(9.6%)	4,700	(81.6%)
その他国内子会社	43	(△87.2%)	340	(△53.2%)	△195	(-)	71	(△79.1%)	△100	(+)	435	(512.6%)
ODC(米国)	△\$7,369	(-) △707 (-)	\$4,685	(△75.4%) 439 (△74.7%)	\$9,406	(+) 856 (+)	\$32,226	(587.8%) 2,814 (540.9%)	\$13,000	(38.2%) 1,079 (26.0%)	\$49,000	(52.0%) 4,067 (44.5%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 3,900	(-) △500 (-)	€ 2,375	(△12.8%) 310 (△11.0%)	△€ 2,160	(+) △257 (+)	€ 2,644	(11.4%) 304 (△1.8%)	△€ 600	(+) △69 (+)	€ 7,200	(172.2%) 828 (172.0%)
持分法適用会社投資損益	△90	(+)	△204	(-)	△80	(+)	△66	(+)	10	(+)	136	(+)
当期純利益 [のれん償却前・前年為替適用]	△924	(+)	△725	(-)	△3,419	(-) △2,637 (-)	△2,443	(-) △827 (-)	200	(+) [237] (+)	4,500	(+) [4,613] (+)
三和シャッター工業	5	(△99.7%)	129	(△97.1%)	△2,460	(-)	△1,822	(-)	100	(+)	2,200	(+)
その他国内子会社	△32	(-)	136	(△67.0%)	△101	(-)	△5	(-)	△50	(+)	235	(+)
ODC(米国)	△\$6,263	(-) △601 (-)	△\$2,495	(-) △233 (-)	\$4,223	(+) 384 (+)	\$16,539	(+) 1,444 (+)	\$5,000	(18.4%) 415 (7.9%)	\$26,000	(57.2%) 2,158 (49.4%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,633	(-) △337 (-)	△€ 3,734	(-) △487 (-)	△€ 2,182	(+) △260 (+)	△€ 322	(+) △37 (+)	△€ 700	(+) △80 (+)	€ 2,800	(+) 322 (+)
持分法適用会社投資損益	△90	(+)	△204	(-)	△80	(+)	△66	(+)	10	(+)	136	(+)

- 2010年度の[]内は、のれん償却前数値に前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

参考資料. 5 製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

		2010年度 (H22年度)								2011年度 (H23年度)							
		上 期				通 期				上 期				通 期			
		受注高	売上高	構成比	手持残高	受注高	売上高	構成比	手持残高	受注高	売上高	構成比	手持残高	受注高	売上高	構成比	手持残高
シャッター製品	軽 量	(0.2) 11,636	(0.9) 11,394	22.0	980	(△5.7) 21,752	(△5.6) 21,676	18.7	744	(△1.2) 11,500	(0.9) 11,500	21.7	744	(7.6) 23,400	(7.9) 23,400	19.2	744
	重 量	(△7.4) 8,653	(△12.5) 8,666	16.7	10,493	(△2.4) 17,618	(△8.5) 20,224	17.4	7,985	(24.8) 10,800	(11.9) 9,700	18.3	9,085	(20.9) 21,300	(8.8) 22,000	18.0	7,285
	小 計	(△3.2) 20,289	(△5.3) 20,061	38.7	11,473	(△4.3) 39,370	(△7.0) 41,901	36.1	8,729	(9.9) 22,300	(5.7) 21,200	40.0	9,829	(13.5) 44,700	(8.3) 45,400	37.2	8,029
シャッター関連	OSD	(△2.1) 2,317	(△1.1) 2,172	4.2	1,088	(△4.0) 4,468	(△3.7) 4,614	4.0	788	(12.2) 2,600	(10.5) 2,400	4.5	988	(11.9) 5,000	(14.8) 5,300	4.3	488
	その他	3,191	2,975	5.7	3,511	6,185	6,793	5.8	2,707	3,100	2,700	5.1	3,107	6,300	6,200	5.1	2,807
	小 計	(△5.6) 5,509	(△7.8) 5,148	9.9	4,599	(△3.9) 10,654	(△4.6) 11,408	9.8	3,495	(3.5) 5,700	(△0.9) 5,100	9.6	4,095	(6.1) 11,300	(0.8) 11,500	9.4	3,295
ドア製品	ビル・マンション	(△11.4) 16,189	(△11.4) 14,208	27.4	35,639	(△10.2) 31,746	(△6.4) 36,557	31.5	28,946	(16.1) 18,800	(0.6) 14,300	27.0	33,446	(20.6) 38,300	(4.8) 38,300	31.4	28,946
	住宅	(△14.4) 1,291	(△14.4) 1,290	2.5	24	(△22.3) 2,324	(△22.3) 2,322	2.0	25	(△14.8) 1,100	(△14.7) 1,100	2.1	25	(△5.4) 2,200	(△5.3) 2,200	1.8	25
	小 計	(△11.6) 17,480	(△11.7) 15,498	29.9	35,664	(△11.2) 34,071	(△7.5) 38,880	33.5	28,971	(13.8) 19,900	(△0.6) 15,400	29.1	33,471	(18.9) 40,500	(4.2) 40,500	33.2	28,971
窓製品		(4.5) 3,166	(4.8) 3,171	6.1	71	(1.2) 6,270	(1.7) 6,284	5.4	64	(△2.1) 3,100	(△2.3) 3,100	5.8	64	(△1.1) 6,200	(△1.3) 6,200	5.1	64
エクステリア製品		(△9.9) 1,525	(△11.0) 1,480	2.9	64	(△8.5) 2,969	(△8.4) 2,971	2.6	17	(△8.2) 1,400	(△5.4) 1,400	2.6	17	(△5.7) 2,800	(△5.8) 2,800	2.3	17
その他の製品	間仕切製品	(△20.7) 2,179	(△10.9) 2,009	3.9	1,931	(△15.9) 4,303	(△11.4) 4,882	4.2	1,181	(14.7) 2,500	(4.5) 2,100	4.0	1,581	(16.2) 5,000	(6.5) 5,200	4.3	981
	ステンレス製品	(0.0) 1,427	(9.3) 1,048	2.0	1,935	(12.5) 3,162	(7.9) 2,997	2.6	1,728	(5.1) 1,500	(14.4) 1,200	2.3	2,028	(4.3) 3,300	(6.7) 3,200	2.6	1,828
	フロント製品	(11.4) 419	(27.5) 384	0.7	123	(8.5) 784	(16.2) 834	0.7	38	(△28.5) 300	(△22.1) 300	0.6	38	(△10.7) 700	(△16.1) 700	0.6	38
	その他	2,535	3,005	5.8	1,149	4,686	6,054	5.2	719	3,300	3,200	6.0	819	6,500	6,500	5.3	719
	小 計	(△6.8) 6,563	(△4.0) 6,448	12.4	5,140	(△8.5) 12,937	(△6.3) 14,768	12.7	3,668	(15.8) 7,600	(5.5) 6,800	12.8	4,468	(19.8) 15,500	(5.6) 15,600	12.8	3,568
合 計		(△6.5) 54,535	(△7.0) 51,808	100.0	57,013	(△6.9) 106,274	(△6.5) 116,214	100.0	44,948	(10.0) 60,000	(2.3) 53,000	100.0	51,948	(13.9) 121,000	(5.0) 122,000	100.0	43,948
ビル建材部門		(△10.9) 29,954	(△12.2) 26,977	52.1	54,852	(△8.0) 58,677	(△7.7) 67,103	57.7	43,584	(15.2) 34,500	(1.9) 27,500	51.9	50,584	(18.3) 69,400	(4.9) 70,400	57.7	42,584
店装建材部門		(△1.1) 9,551	(0.4) 9,282	17.9	1,253	(△6.8) 17,597	(△6.2) 17,711	15.2	860	(△2.6) 9,300	(0.2) 9,300	17.5	860	(8.5) 19,100	(7.8) 19,100	15.7	860
住宅建材部門		(△4.5) 6,348	(△4.4) 6,283	12.1	190	(△7.9) 12,115	(△7.8) 12,105	10.4	128	(△7.1) 5,900	(△6.1) 5,900	11.1	128	(△3.4) 11,700	(△3.3) 11,700	9.6	128
メンテ・サービス		(4.2) 7,904	(4.2) 7,904	15.3	-	(2.3) 16,635	(2.3) 16,635	14.3	-	(13.9) 9,000	(13.9) 9,000	17.0	-	(9.4) 18,200	(9.4) 18,200	14.9	-
その他		776	1,359	2.6	716	1,248	2,659	2.3	374	1,300	1,300	2.5	374	2,600	2,600	2.1	374
		金 額		上期増減	金 額		通期増減	金 額		上期増減	金 額		通期増減				
うち		手持残高		57,013	3,545	44,948	△8,520	51,948		7,000	43,948		△1,000				
		仕掛品		15,383	3,742	10,792	△848	13,100		2,307	10,100		△692				

(注) 1. ()内は、前年増減率を示す。

参考資料. 6 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2009年度		2010年度		2011年度(見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	2,146	3,894	1,314	3,495	1,910	3,990
三和シャッター工業	1,244	1,871	612	1,903	800	1,680
三和ホールディングス	29	142	34	71	130	230
為替レート ()内は千ドル表示	95.98	93.72	91.02	87.32	83.00	83.00
ODC	(\$3,279)	(\$7,524)	(\$3,591)	(\$8,239)	(\$5,421)	(\$12,410)
ODC	314	705	326	719	450	1,030
為替レート ()内は千ユーロ表示	128.33	130.56	119.27	115.09	115.00	115.00
Novoferm	(€4,180)	(€8,517)	(€2,685)	(€6,759)	(€3,913)	(€8,174)
Novoferm	536	1,112	320	777	450	940
国内連結子会社	20	62	19	23	80	110
減価償却費	2,405	4,825	3,424	6,578	2,857	6,074
三和シャッター工業	667	1,391	645	1,342	939	2,221
三和ホールディングス	302	606	285	573	274	546
為替レート ()内は千ドル表示	(\$4,583)	(\$10,286)	(\$11,004)	(\$20,793)	(\$10,497)	(\$21,289)
ODC	439	964	1,001	1,815	871	1,767
Novoferm	(€6,605)	(€11,970)	(€5,508)	(€10,638)	(€5,370)	(€10,683)
Novoferm	847	1,562	656	1,224	617	1,228
国内連結子会社	62	127	53	108	55	111
のれん償却額	84	172	781	1,514	100	200
有形固定資産償却費	2,056	4,077	2,150	4,085	1,995	4,062
三和シャッター工業	526	1,097	413	855	411	878
三和ホールディングス	296	594	279	560	268	534
為替レート ()内は千ドル表示	(\$4,258)	(\$9,351)	(\$9,222)	(\$17,271)	(\$8,752)	(\$17,799)
ODC	408	876	839	1,508	726	1,477
Novoferm	(€5,968)	(€10,651)	(€4,786)	(€9,245)	(€4,696)	(€9,336)
Novoferm	765	1,390	570	1,064	540	1,073
国内連結子会社	59	119	47	97	49	99
無形固定資産償却費	348	747	1,274	2,492	862	2,011
三和シャッター工業	141	294	232	486	528	1,343
三和ホールディングス	6	12	6	12	6	12
為替レート ()内は千ドル表示	(\$324)	(\$934)	(\$1,782)	(\$3,521)	(\$1,745)	(\$3,489)
ODC	31	87	162	307	144	289
Novoferm	(€637)	(€1,319)	(€722)	(€1,392)	(€674)	(€1,347)
Novoferm	81	172	86	160	77	154
国内連結子会社	3	8	5	10	5	11
のれん償却額	84	172	781	1,514	100	200

参考資料. 7 2011年度ODC業績予想

(千ドル・%)

		2009年度		2010年度				2011年度(予想)							
		通 期		上 期		下 期		通 期		上 期		下 期		通 期	
製品別売上高	ド ア	(△17.8) 265,949	56.2	(127.8) 265,809	72.6	(94.8) 290,813	71.7	(109.3) 556,622	72.1	(5.9) 281,600	70.4	(9.8) 319,300	69.4	(8.0) 600,900	69.9
	開 閉 機	(△12.2) 133,651	28.3	(0.4) 64,006	17.5	(5.2) 73,537	18.1	(2.9) 137,543	17.8	(11.6) 71,400	17.9	(17.2) 86,200	18.7	(14.6) 157,600	18.3
	自 動 ド ア	(△19.2) 52,364	11.1	(△9.4) 23,654	6.5	(11.6) 29,295	7.2	(1.1) 52,949	6.9	(32.7) 31,400	7.9	(26.3) 37,000	8.0	(29.2) 68,400	8.0
	車 両 ド ア	(△37.0) 20,921	4.4	(26.9) 12,593	3.4	(10.7) 12,172	3.0	(18.4) 24,766	3.2	(23.9) 15,600	3.9	(43.8) 17,500	3.8	(33.7) 33,100	3.8
売 上 高		(△17.6) 472,885	100.0	(69.1) 366,062	100.0	(58.3) 405,818	100.0	(63.2) 771,881	100.0	(9.3) 400,000	100.0	(13.4) 460,000	100.0	(11.4) 860,000	100.0
営 業 利 益		(△68.6) 6,833	1.4	(+) 10,511	2.9	(60.0) 21,824	5.4	(373.2) 32,336	4.2	(33.2) 14,000	3.5	(69.5) 37,000	8.0	(57.7) 51,000	5.9
経 常 利 益		(△75.4) 4,685	1.0	(+) 9,406	2.6	(89.3) 22,820	5.6	(587.9) 32,226	4.2	(38.2) 13,000	3.3	(57.8) 36,000	7.8	(52.1) 49,000	5.7
当 期 純 利 益		(-) △ 2,495	△ 0.5	(+) 4,223	1.2	(226.9) 12,315	3.0	(+) 16,539	2.1	(18.4) 5,000	1.3	(70.5) 21,000	4.6	(57.2) 26,000	3.0
E B I T		(△74.4) 5,460	1.2	(+) 9,853	2.7	(83.6) 23,067	5.7	(502.9) 32,920	4.3	(△23.0) 7,591	1.9	(49.0) 34,371	7.5	(27.5) 41,962	4.9
E B I T D A		(△52.5) 15,746	3.3	(+) 20,857	5.7	(79.8) 32,856	8.1	(241.1) 53,713	7.0	(△13.3) 18,088	4.5	(37.5) 45,162	9.8	(17.8) 63,251	7.4

- 1.()内は前年増減率を示す。
- 2.EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。
3. 2009年度下期のドア部門にWD社業績1ヶ月分を含む。
4. 2010年度よりWD社業績を含む。

参考資料. 8 2011年度NF業績予想

(千ユーロ、%)

		2009年度		2010年度				2011年度(予想)							
		通期		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
所在地別	ドイツ	(△8.4)		(△14.7)		(△10.0)		(△12.3)		(6.4)		(14.0)		(10.3)	
		250,082	74.0	105,567	71.2	113,731	71.5	219,298	71.4	112,300	70.2	129,600	72.0	241,900	71.1
	フランス	(△10.9)		(△14.3)		(△10.0)		(△12.3)		(9.3)		(18.0)		(13.5)	
		79,259	23.5	36,046	24.3	33,482	21.0	69,528	22.6	39,400	24.6	39,500	21.9	78,900	23.2
	イタリア	(△12.4)		(△9.2)		(△12.3)		(△10.9)		(2.2)		(28.2)		(15.7)	
		21,517	6.4	9,198	6.2	9,984	6.3	19,182	6.2	9,400	5.9	12,800	7.1	22,200	6.5
	オランダ	(△12.4)		(△17.4)		(△2.7)		(△10.4)		(9.2)		(11.3)		(10.3)	
		58,101	17.2	25,264	17.0	26,767	16.8	52,031	16.9	27,600	17.3	29,800	16.6	57,400	16.9
売上高		(△10.8)		(△12.9)		(△5.1)		(△9.0)		(7.9)		(13.1)		(10.6)	
		337,892	100.0	148,236	100.0	159,115	100.0	307,351	100.0	160,000	100.0	180,000	100.0	340,000	100.0
営業利益		(△24.4)		(+)		(△23.3)		(△12.9)		(+)		(49.5)		(88.3)	
		6,099	1.8	△1,109	△0.7	6,419	4.0	5,309	1.7	400	0.3	9,600	5.3	10,000	2.9
経常利益		(△12.8)		(+)		(△23.4)		(11.4)		(+)		(62.3)		(172.2)	
		2,375	0.7	△2,160	△1.5	4,805	3.0	2,644	0.9	△600	△0.4	7,800	4.3	7,200	2.1
当期純利益		(-)		(+)		(+)		(+)		(+)		(88.2)		(+)	
		△3,734	△1.1	△2,182	△1.5	1,859	1.2	△322	△0.1	△700	△0.4	3,500	1.9	2,800	0.8
EBIT		(△16.6)		(+)		(△1.3)		(1.0)		(+)		(18.2)		(49.7)	
		7,275	2.2	△1,203	△0.8	8,548	5.4	7,345	2.4	900	0.6	10,100	5.6	11,000	3.2
EBITDA		(△11.0)		(△17.5)		(△2.5)		(△6.5)		(45.6)		(23.8)		(29.0)	
		19,244	5.7	4,305	2.9	13,679	8.6	17,985	5.9	6,269	3.9	16,935	9.4	23,204	6.8

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。
2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段()は前年増減率を示す。
3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。
4. 2010年度よりドイツ販売会社への各社売上高は相殺としてドイツ国内に含めて示す。